



荒屋新町駅から国道282号新町交差点までを分列行進する市消防団。出初式は3地区持ち回りの開催予定で、安代地区では初めての開催です

# 八幡平市

## 心意気を示す威風堂々の市消防出初式

消防団の団結を高め、市民の生命と財産を守る使命を認める市消防出初式は1月3日、安代地区で開催されました。

当日は好天に恵まれ、消防団員370人と婦人消防協力隊員120人、消防車両37台が出動しました。荒屋新町駅から、国道282号新町交差点までの区間をラッパ隊の高音



統監の田村市長などの観閲を受ける団員たち

堂々と一糸乱れぬ分列行進。市消防団の団結力を沿道で見守る市民に披露しました。式典は、安代総合支所前で実施され、渡辺東六団長が「早期出動と初期消火の重要性を認識して、地域を火災や自然災害から守るため、さらなる技術の練磨に励んでほしい」と訓示。

統監の田村正彦市長は「火災は市民の生命と財産を奪い去る大変な脅威。この防止と抑止のため、一層の精進を期待します」と激励しました。団員たちは、市民からの期待を胸に決意を新たにしました。

新年を迎え、規律厳正な隊員を養成しようと市交通指導隊（杣沢徳宣<sup>のりゆき</sup>隊長）と市防犯隊（遠藤義明<sup>よしのり</sup>隊長）の初点検は、1月6日に西根地区体育館で実施されました。

指導隊29人、防犯隊24人が出動。関係者らが見守る中で隊員たちの観閲が行われ、隊長の号令のもと手帳や警笛などの点検を受けました。

隊員たちは、心も新たに交通安全や地域安全の推進を誓いました。



手帳や警笛などの点検を受ける防犯隊員

## 交通指導隊と防犯隊による初点検実施



出征した家族に変わり女性を中心に受け継がれました

市指定無形民俗文化財の平笠裸参りは、1月8日に西根地区平笠の宮田神社から大更の八坂神社を目指し、女性19人を中心に33人が参加して行われました。

この時期としては珍しく積雪はないものの、粉雪の舞う寒空の下での荒行。ほら貝を先頭に、約10<sup>キロ</sup>の道のりを白装束に身を包んだ参加者が民家や商店などに立ち寄り、家内安全や五穀豊穡を祈りながら練り歩きました。

## 無病息災と五穀豊穡を願う平笠裸参り